

瀬戸大橋架橋史 (通史・資料編、写真編)



海上わずか 10 キロを隔てて位置する四国と本州。

「この海に橋さえ架かれれば・・・」。この思いは、まさに四国住民の夢であり悲願でありました。この夢の実現に向けて初めて具体的な構想を提唱したのが、本県の偉大な先覚者・大久保謙之丞でした。明治 22 年のことであります。

爾来百年、奇しくも本県の置県百年目に当たる昭和 63 年の 4 月 10 日に、瀬戸大橋は開通いたしました。

本誌は、瀬戸大橋の完成に向けてご尽力、ご支援、ご協力いただいた多くの方々の汗と努力の足跡を永く後世に記録するとともに、架橋の意義を広く理解していただくために発刊したものです。

(平成元年 4 月 瀬戸大橋架設推進香川県協議会)

(7100271936・7100271886)